

DX実践道場の取組状況について

1 要旨・目的

県内の中小・小規模事業者等によるDX実践を伴走支援し、モデル事例を創出する「DX実践道場」の取組状況について報告する。

2 現状・背景

令和5年8月に参加対象事業者を選定して以降、DXの実践に向けて各種勉強会や伴走支援を実施している。

3 概要

(1) 対象者

DX実践道場に参加する事業者 (40 者)

(2) 実施内容

ア 各種勉強会の実施

9月に、「ノーコード」、「RPA」、「勤怠管理」等のテーマごとに、主なITツールを活用して課題を解決する方法や、DXを実践する際に活用できる国や県の補助金について学ぶ「ITツール／補助金勉強会」を開催した。(37 事業者／68 名が参加)

また、DXに取り組むための課題の洗い出しから取組の検討までの手法を学ぶワークショップを開催した。

(35 事業者／65 名が参加)

※ワークショップに参加できなかった事業者は伴走支援において個別に対応。



ワークショップの様子 (令和5年9月)

イ 伴走支援の実施

10月から各参加事業者の課題等を踏まえ、専門家による伴走支援を順次実施している。

(ア) 参加事業者の主な取組内容

様々な管理業務 (勤怠管理、顧客管理など) に関する効率化・見える化など

- ・ ITツールの導入によるペーパーレス化やRPAを活用した作業の自動化
- ・ ノーコードツールを活用した業務の効率化・見える化
- ・ 生成AIを活用した業務の効率化 など

(イ) 進捗状況 (11月22日時点)

| 段階 | 主な内容 | 事業者数 |
|--------------|----------------------------------|------|
| 1 課題分析・対策検討 | ・現状把握や課題の整理、計画策定、取組内容の決定に向けた支援など | 35 |
| 2 ITツールの選定 | ・最適なITツールの提案やベンダーとのマッチングなど | 5 |
| 3 ITツールの導入支援 | ・ベンダーと連携し、ITツールの本格的な導入に向けた支援など | 0 |
| 4 DX実践 | ・ITツールを活用したDXの実践 (試行を含む) | 0 |

(3) スケジュール

令和5年12月7日 ITツールハンズオン勉強会
令和6年2月下旬 伴走支援終了
3月中下旬 成果発表会（第2回経営者向けセミナー）の実施
実践ガイドブック完成

(4) 予算（一部国庫）

86,570千円（令和5年度広島県DX実践支援事業）の一部
※うちデジタル田園都市国家構想交付金34,045千円の一部

4 その他

特設ポータルサイト：<https://dx-hiroshima.jp/dx/>